

平成 25 年度の主な事業報告

(1 枚目)

社会福祉法人 希望の杜福祉社会

社会福祉事業

法人としての取り組み

地域とのつながり作り

- ・地域社会の課題の掘り起しなどを通じた“地域とのつながり作り”を目標に掲げていたが、日常の運営に追われ、取り組むことができなかった。地域福祉の中心的役割を果たせるようにすることが、今後の課題である。

健全な経営の確立

- ・授産事業の赤字に関して一定の改善が見られた。今後も工賃向上を目指した経営改善が必要である。
- ・福祉事業において昨対で大幅な減収となった。経営改善のための体制作りが必要である。

人材育成

- ・研修委員会の策定した計画に基づき、職員の内部研修及び新人職員の現場実習を実施した
- ・管理者の外部研修、職員の資質向上研修、先進事業所研修等、日常業務に追われ実施できなかった研修が複数あり、研修に参加できる勤務体制作りを含め、今後の課題である。

職員待遇改善

- ・職員の処遇に関しては、規定がそもそも古く、現在の労働・経済情勢に対応した規定に改定する必要がある。そのため、規定委員会を設置したが、活動ができなかった。来年度の改定を目指したい。

利用者・家族との交流

- ・利用者の自治組織の育成や、職員・利用者間の意見交換、事業所間の利用者交流を目標に掲げていたが、日常業務に追われ、取り組むことができなかった。
- ・利用者家族会の定例化や事業所通信の定期発行を目標に掲げていたが、実施状況は事業所毎にばらつきがあった。要検討である。

原発事故による損害賠償

- ・弁護士を通じ、東電に損害賠償請求を行っているが、進展が見られない。弁護士、税理士と相談し解決を目指す。

檜葉町への帰村

- ・檜葉町の帰村宣言が近いため、いわき市に避難し仮開所中の檜葉事業所について帰還・再開の検討が必要である。檜葉事業所所属の職員や家族・利用者の意見を聞く機会を設けるようにしたい。

将来像

- ・将来構想委員会を活発化させ、事業の方向性を検討する予定だったが、あり方を明確に定めていなかった為、十分な検討を行えなかった。委員会の構成や、検討課題などを抜本的に改めたい。

けやき共同作業所・けやき鹿島(主従事業所/就労継続支援B型)

けやき共同作業所：市委託配食弁当、宅配弁当、惣菜等製造販売、輪ゴムの箱詰め等下請

- ・弁当の注文数が減少しているため、増やす為の取り組みが必要である。
- ・下請作業と弁当作業で利用人数に偏りがあり、配置換えが必要である。
- ・一般就労希望者への支援として、面接会への動向や就業支援センターとの連携をとった。

けやき鹿島：宅配弁当、惣菜等製造販売

- ・惣菜の販売を9月中止し、職員の時間外労働を減らすことができた。
- ・就継Aへの移行を予定していたが、消防設備の不備、利用者数が少ない等の問題からA型への移行を中止し、26年度に事業を廃止する。利用者、宅配弁当等に関してはけやき共同作業所に引き継ぐ。

工房けやき(就労継続支援B型)・けやき茶屋(出張所)

工房けやき：豆腐等製造販売、惣菜の販売

- ・個別支援計画に基づき、利用者個人の能力に応じた作業の提供した。
- ・売上が年々減少しているため、売り上げを伸ばす為の取り組みが必要である。

けやき茶屋：豆腐販売、惣菜の販売

- ・月平均の売上は100万円を越えているが、そこから伸び悩んでいる。更なる売り上げ増が今後の課題である。

平成 25 年度の主な事業報告

(2 枚目)

社会福祉法人 希望の杜福祉会

社会福祉事業

あとりえ北山・杜のどーなつ・ふれんず北山(多機能型事業所/就労継続支援B型・同左・生活訓練)

あとりえ北山：菓子・惣菜・弁当の製造販売、古紙回収、下請事業等

- ・月の売り上げ目標をほぼ達成。イベントなどに積極的に参加し売上の確保ができた。
- ・平日の売上を伸ばしていく必要がある。
- ・個別支援に計画に基づき、一人ひとりに応じた作業指導及び支援を行った。

杜のどーなつ：菓子製造販売、店舗販売

- ・全国から通販の注文があり、固定客から安定した注文を受けている。チラシの作成などにも力を入れた。
- ・通販に比べ、店舗販売は伸び悩んでおり、今後の課題である。
- ・個別支援に計画に基づき、一人ひとりに応じた作業指導及び支援を行った。
- ・利用者の互助会“もりのわ会”を開き、利用者間、利用者と職員間の交流を深めた。
- ・26年度単独の事業所へ移行予定。

ふれんず北山：生活支援、体力増進、社会資源利用、創作活動、教養講座

- ・個別支援計画の作成により無理のない支援を行うことができた。
- ・生活訓練プログラムにより、利用者のスキルが上達した。
- ・個人面接・随時相談により個々の悩みを聞き、利用者とのコミュニケーションが取れた。

ふたばの里(就労継続支援B型)

事業内容：菓子製造販売、手工芸品の製造販売、古紙の回収、下請事業等

- ・車両、人員の整備により資源ごみ回収の仕事を主力とする体制が取れるようになった。
- ・小物制作、下請作業など、各団体及び個人より注文依頼が入り、一定の仕事を確認することができた。
- ・余暇活動や憩いの場として、利用者の無理のない通所につなげていくことに力を入れた。
- ・個別支援計画に基づく利用者個人の能力に応じた作業の提供した。
- ・相談支援事業所と連携し、ニーズにあった支援を行えるようにした。
- ・相双地区の利用者がいわき市に異動している為、利用者数が増えてきている。

グリーンアップルズホーム(共同生活援助) 定員24名 入居者23名

きぼうの家：地域生活サポート、食事提供、服薬管理、日常支援、通院同行等

- ・地域生活継続のための制度に関する情報提供をした。
- ・世話人と生活支援員が連携し、服薬管理や病院同行などの地域生活の継続に必要な支援を行った。
- ・入院した入居者に対して、面会、病院との連絡調整、外出・外泊同行等といった入院時に必要な支援を行った。
- ・地区の清掃活動への参加などを通じ、地域との交流を図った。
- ・入居者の高齢化により様々な問題が出てきており、今後、利用するサービスの変更が必要となってくる。

スペースけやき(地域活動支援センター)

事業内容：地域における活動支援、憩いの場の提供

- ・日中活動として、生産的活動や創作活動、障がいや地域生活に関する講座を開くなどの支援を行った。
- ・退院し地域で生活を始めた利用者に対して、当事者ミーティングの開催するなどの支援を行った。
- ・地域活動支援センターの利用を足がかりに、就労継続Bや生活訓練などへの移行を支援した。

スペースけやき(指定一般・指定特定相談支援事業)

指定一般相談支援事業所 スペースけやき：地域移行支援、地域定着支援

- ・対象者がいなかった為、未実施。

指定特定相談支援事業所 スペースけやき：サービス利用計画作成及びモニタリング

- ・モニタリングの実施スケジュールを作成し、月毎の新規計画作成可能数の把握に努めた。

結いの里(指定特定相談支援事業)

指定特定相談支援事業所 結いの里：サービス利用計画作成及びモニタリング

- ・いわき市に避難してきている相双地区の障がい者に対して、サービス利用計画の作成とその、モニタリングを行った。

平成 25 年度の主な事業報告

(3 枚目)

社会福祉法人 希望の杜福祉会

公 益 事 業

スペースけやき(委託相談支援事業) いわき市から委託を受ける

事業内容：一般相談、自立支援協議会への参加、研修の開催、認定調査等

- ・障がい児者や家族などに対して相談支援を行った。
- ・一般相談や他事業所との連携を通して地域の課題を把握し、市自立支援協議会においてその解決の為に協議を行った。
- ・障がい程度区分の認定調査を行った。

結いの里(委託相談支援事業) 檜葉町・広野町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・川内村 から委託を受ける

事業内容：一般相談、双葉地方地域自立支援協議会への参加、認定調査等

- ・障がい児者やその家族などに対して相談支援を行った。
- ・被災障がい者への集中的な支援の為に、関係機関と連携を強化し、支援体制の構築を図った。
- ・一般相談や他事業所との連携を通して地域の課題を把握し、つながる部会・双葉地方地域自立支援協議会等においてその解決の為に協議を行った。
- ・障がい程度区分の認定調査を行った。

福島県相談支援充実・強化事業(被災地における障がい福祉サービス基盤整備事業)

事業内容：被災した障がい者の相談支援等

- ・住民支援として、被災した障がい者を対象とした福祉サービス利用相談を実施した。
- ・支援者支援として、ニーズの整理や評価を目的とした訪問活動への同行等を実施した。
- ・相談支援体制整備として、双葉地方地域自立支援協議会や、連携を目的とした関係者会議への協力を行った。
- ・避難元町村へ対象者の支援経過報告を実施し、避難先でのサービス等利用状況を集約するなどの協力を行った。

憩いの家(地域支え合い体制作り助成事業) 定員 9 名(入居 8 ショートステイ 1) 入居者 7 名

事業内容：仮設のグループホーム、地域生活サポート、服薬・金銭管理、日常支援、通院同行等

- ・被災障がい者等に対して、地域における住まいの場を提供した。
- ・各種ルールの周知や情報提供、服薬管理等の生活支援、家族との連絡調整等を通し、地域生活の継続を支援した。
- ・清掃活動や各種イベントへの参加等を通し、地域との交流を図った。

のんびりハウス(地域支え合い体制作り助成事業)

事業内容：障がい児の預り事業

- ・休日及び長期休暇において、双葉郡等からの避難障がい児を対象に、家族の就労支援及びレスパイトを目的として、預り事業を実施した。
- ・利用障がい児の家族に対する相談支援を実施した。

収 益 事 業

無し